

## 成果目標に関する調書【治水特別会計】

No.	施策名	成果目標	成果目標を達成するための手段	成果目標の達成度合いの事後的な評価方法	16年度 予算額(千円)	17年度 予算額(千円)
1	都市の魅力の創造	・都市空間形成河川整備率 34%(H14) 40%(H18)	市街地における親水性のある河川の整備	「都市空間形成河川整備率」について政策チェックアップ(業績測定)方式により評価	51,855,900	52,926,000
2	災害に強い都市の構築	・洪水による氾濫から守られる区域の割合 約58%(H14) 約62%(H19) ・床上浸水を緊急に解消すべき戸数 約9万戸(H14) 約6万戸(H19) ・土砂災害から保全される戸数 約120万戸(H14) 約140万戸(H19) ・土砂災害から保全される災害時要援護者関連施設数 約3,100施設(H14) 約4,100施設(H19)	洪水による氾濫被害から守るための河川整備・ダム等洪水調節施設の整備、砂防設備・地すべり防止施設の整備	「洪水による氾濫から守られる区域の割合」、「床上浸水を緊急に解消すべき戸数」、「土砂災害から保全される戸数」及び「土砂災害から保全される災害時要援護者関連施設数」について政策チェックアップ(業績測定)方式により評価	264,979,137	265,431,489
3	安全な地域づくり、地域の活性化等	・洪水による氾濫から守られる区域の割合 約58%(H14) 約62%(H19) ・床上浸水を緊急に解消すべき戸数 約9万戸(H14) 約6万戸(H19) ・土砂災害から保全される戸数 約120万戸(H14) 約140万戸(H19) ・土砂災害から保全される災害時要援護者関連施設数 約3,100施設(H14) 約4,100施設(H19) ・自然体験活動拠点数 218箇所(H12) 300箇所(H18) ・地域に開かれたダム、ダム湖活用者数 499万人(H12) 621万人(H18)	洪水による氾濫被害から守るための河川整備・ダム等洪水調節施設の整備、砂防設備・地すべり防止施設の整備、自然体験を支援する水辺の整備の推進及びダム湖周辺の整備	「洪水による氾濫から守られる区域の割合」、「床上浸水を緊急に解消すべき戸数」、「土砂災害から保全される戸数」、「土砂災害から保全される災害時要援護者関連施設数」、「自然体験活動拠点数」及び「地域に開かれたダム、ダム湖活用者数」について政策チェックアップ(業績測定)方式により評価	259,729,923	251,575,088
4	自然共生型事業の推進	・失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合 H19までに約2割再生 ・失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合 H19までに約3割再生 ・自然体験活動拠点数 218箇所(H12) 300箇所(H18)	自然再生、多自然型川づくり、自然体験を支援する水辺の整備等	「失われた自然の水辺のうち、回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合」、「失われた湿地や干潟のうち、回復可能な湿地や干潟の中で再生したものの割合」及び「自然体験活動拠点数」について政策チェックアップ(業績測定)方式により評価	125,206,869	116,935,007
5	安全でおいしい水の確保	・河川における汚濁負荷削減率 H19までに13%を削減 ・河川の流量不足解消指数 55%(H14) 61%(H18)	河川における浄化事業の推進及び河川流量確保のためのダム建設等	「河川における汚濁負荷削減率」及び「河川の流量不足解消指数」について政策チェックアップ(業績測定)方式により評価	13,750,600	12,140,100
6	リサイクル・リユースの推進	・直轄工事におけるリサイクル率 H12 As:99.7% Co:97% 木材:75% H17 100%	直轄工事に係る各種建設副産物の排出抑制、再生利用等	「直轄工事におけるリサイクル率」について政策チェックアップ(業績測定)方式により評価	22,892,132	24,749,127